

科目名				法 学		開 講 キャンパス	神 埼	
担 当 者				平 誠 一				
開 講 年 次		1(心 理) 1・2(リハ子ども)	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選択必修
授業の概要 及びねらい		社会生活における法の作用や役割について正確に理解することを目指す。そのため、民法を中心に具体的な事例を取り上げ、解説する。また、福祉領域に関係する「成年後見制度」「代理制度」「親族」「相続」、そして「後見制度」と密接なかわりを持つ「手続き」、例えば、児童福祉、障害福祉に関しての説明を行う。						
授 業 の 到 達 目 標		1) 法の基礎知識を理解する。 2) 裁判所の仕組みや裁判手続を理解する。 3) 法律行為（契約）について理解する。 4) 不法行為責任について理解する。 5) 労働保護法制について理解する。 6) 親族・相続について理解する。 7) 成年後見制度について説明できる。 8) 社会福祉法制について理解する。 9) 国家の仕組みについて説明できる。 10) 権利救済システムについて説明ができる。						
学 習 方 法		講義						
テキスト及び参考書等		テキスト：村田彰編『リーガルスタディー 法学入門（第3版）』（酒井書店） 参考書：井上正人ほか編『ポケット六法 平成26年版』（有斐閣）						
評 価 基 準 ・ 方 法		到 達 目 標					評価割合%	
		知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験		◎				80		
小テスト等								
宿題・授業外レポート								
授業態度				○		10		
受講者の発表								
授業への参加度				○		10		
その他								
合 計						100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)								
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）								
第 1 週	法律学を学ぶ人のために							
第 2 週	裁判と法							
第 3 週	経済生活と法（1）－契約、消費者の保護							
第 4 週	経済生活と法（2）－不法行為、専門家の責任							
第 5 週	経済生活と法（3）－雇用							
第 6 週	家族と法（1）－結婚、離婚							
第 7 週	家族と法（2）－親子、親族							
第 8 週	家族と法（3）－相続、遺言							
第 9 週	福祉と法（1）－成年後見制度							
第 10 週	福祉と法（2）－任意後見制度							
第 11 週	福祉と法（3）－児童福祉							
第 12 週	福祉と法（4）－障害福祉							
第 13 週	国家と法（1）－国会、内閣							
第 14 週	国家と法（2）－行政処分と権利の救済							
第 15 週	国家と法（3）－地方分権、平和主義、憲法改正							
第 16 週	定期試験							
備 考	予習・復習を行い、講義に臨むこと。 基本的にはテキストに沿って講義を進めるが、必要に応じて、適宜、資料等を配布する。							